

公開シンポジウム

平成30年度日本医療研究開発機構研究費(AMED) 医薬品等規制調和・評価研究事業

「ヒトiPS分化細胞技術を応用した医薬品の心毒性評価法の開発と国際標準化に関する研究」研究班／第6回 心臓安全性に関するシンクタンクミーティング2019合同公開シンポジウム

ヒトiPS分化細胞を用いた薬理試験の最新動向と国際協調

JiCSAやCiPAなどにより国内外の検証試験が実施され、ICHにおいて医薬品の催不整脈性リスク評価に対するヒトiPS細胞由来心筋細胞やインシリコなど新しいアプローチの利用可能性が検討されることとなり、ヒトiPS細胞技術の創薬応用はさらに進展している。

そこで、本シンポジウムでは、各分化細胞を用いた薬理試験に関する最新動向を紹介し、新たな薬理試験法の開発と国際標準化に向けて議論したい。

日時

2019年2月28日(木)
開場 11:30 開演 12:30
～16:30

会場

大田区産業プラザ4階
コンベンションホール

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20



◀開場へのアクセス方法
<https://www.pio-ota.net/access/>

参加費無料 《申し込み不要》

※受付にて名刺を頂くか又は参加者名簿に記名をお願い致します。

主催

「ヒトiPS分化細胞技術を応用した医薬品の心毒性評価法の開発と国際標準化に関する研究」研究班

Japan iPS Cardiac Safety Assessment (JiCSA)

後援

日本安全性薬理研究会

【お問い合わせ先】

国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター 薬理部

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26

TEL: 044-270-6643 FAX: 044-270-6647

担当: 諫田 (kanda@nihs.go.jp)

石田 (ishida@nihs.go.jp)

プログラム

総合司会: 山崎 大樹 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

12:30 開会の辞
諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

▶セッション1: 肝臓・小腸

座長: 石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

12:40 「ヒト初代培養肝細胞との差別化・優位化が可能なヒトiPS細胞由来肝細胞の開発と毒性評価系への応用」
水口 裕之 (大阪大学大学院薬学研究科)

13:10 「ヒトiPS細胞から小腸細胞の分化誘導法と創薬研究への利用」
松永 民秀 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)

13:40 休憩 (20分)

▶セッション2: 心臓

座長: 諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

14:00 「三次元生体組織構築:iPS由来心筋細胞を用いたLbL-3D Heart」
明石 満 (大阪大学大学院生命機能研究科)

14:30 「ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた創薬および再生医療の具現化における課題と対策」
遠山 周吾 (慶應義塾大学医学部循環器内科)

15:00 休憩 (20分)

▶セッション3: 神経

座長: 佐藤 薫 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

15:20 「ヒトiPS神経細胞を用いた薬効予測法の開発」
鈴木 郁郎 (東北工業大学電気電子工学科)

15:50 「iPS細胞を用いたパーキンソン病の治療法開発」
赤松 和土 (順天堂大学大学院医学研究科)

16:20 閉会の辞
安原 一 (AMED プログラムオフィサー、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団常務理事)